水道使えず衛生心配

地域回るほど被害実感

能登地震

能登半島地震の発生から8日で1週間がたちました。被災地では、自身も被災しながら地域で奔走する人がいます。石川県能登町行延（ゆきのべ）区の区長、田端義機さん（69）が語りました。（桑野白馬、矢野昌弘）

石川・能登町行延区区長　田端義機さん（69）

私は妻と97歳と93歳の両親の4人で暮らしています。1日の大きな揺れがきた時は、自宅で親類とお正月の団らん中でした。地震で2階のテレビが落ち、本棚が倒れるなどひどいありさまです。停電はその日に回復しましたが、水道は止まったままです。自宅に以前からあったヒビが広がりはしましたが、そのまま生活しています。水道の復旧には、2～3カ月はかかると聞きました。不便な生活が長丁場になりそうです。

被害について語る田端義機さん＝5日、石川県能登町（細野晴規撮影）

憩いの場も被災

私は、能登町健康友の会の副会長もしています。会員の様子を尋ねて走ったりしています。友の会の憩いの場だった居場所カフェ「サロン笑和（しょうわ）」は、中がぐちゃぐちゃ。隣の建物が倒壊して、しばらく使えそうにありません。「笑和」は健康マージャンや能登町宇出津（うしつ）発祥の将棋に似たコマをつかったボードゲーム「ごいた」などを楽しんだ場でした。本当に残念です。

行延から4㌔ほど離れた海沿いの能登町松波地区は、津波でひどい状況です。高さ2㍍前後の津波がきて、その痕跡が建物に残っています。何台もの車が津波にさらわれ、沼地に漬かっているのもあります。すぐそばの内浦総合運動公園は、野球場はフェンスが倒れ、グラウンドがめちゃくちゃです。

津波に流され土手に乗り上げた自動車（一部加工）＝5日、石川県能登町（細野晴規撮影）

いくつかの避難所も訪ねました。避難者に聞くと、食事は菓子パン1個やおにぎり1個など。夕食にはサツマイモ入りのおかゆが出た所もありました。栄養が足らなければ体力も落ちる。冬の避難生活で、健康への影響も心配しています。

家がつぶれて、途方に暮れた夫婦がいました。「復興に10年はかかるのじゃないか」「もう、その時には生きていないかも」と言う方がいて、胸に迫りました。

命があったんや

水道が使えないためトイレは流せず、排せつ物を〝保管〟する状況が続いています。ゴミ収集もいつ始まるか、わかりません。衛生面を今一番、懸念しています。被災した方が「未来が見えない」と語るのはつらいです。地域を回れば回るほど、被害の大きさを思い知らされますが、「命があったんや。命があれば何とかなるわいや！」と言う方もいます。

これからも気になる人のもとに駆けつけたいと思います。

今後1カ月、5強以上注意

気象庁は8日、能登半島の最大震度7（マグニチュード＝M7・6）の地震から1週間が経過しましたが、今後も約1カ月間は最大震度5強程度以上の地震に注意するよう呼び掛けました。東田進也地震火山技術・調査課長は記者会見で「家屋の倒壊や土砂災害の危険性が高まっており、復旧活動などの際は地震の2倍近くになりました。

一連の地震は能登半島北部と北東沖にまたがる長さ約150㌔の断層がずれ動いて起きているとみられ、8日午前9時までに発生したM3・5以上の地震は約450回となりました。約1週間の回数は2016年の熊本地震の2倍近くになりました。

震度別では、6日夜に石川県志賀町で震度6弱を局地的に観測しました。5強は7回（震度7の直前を含む）、5弱は6回で、震度1以上は1200回を超えました。最大震度5強程度以上の地震が起きる確率は8日時点で平常時の100倍超といいます。

能登半島北部沿岸では地盤隆起などで津波を観測できなくなっていましたが、同庁は輪島市の輪島港内に臨時の津波観測装置を設置し、8日正午から運用を始めました。

地下流体上昇で誘発か

東京ドーム23個分が存在

最大震度7を観測してから1週間が経過した能登半島地震では、地下深くから上昇した正体不明の流体が大きな活断層に入り込んだことでマグニチュード7・6の地震が誘発された可能性が指摘されています。能登半島の地下には東京ドーム23個分に相当する流体があるとされており、専門家は「流体の動きによっては、今後も地震が起きる恐れがある」として注意を呼び掛けています。

今回の震源域では2020年12月ごろから断続的な群発地震が活発化していました。京都大学防災研究所の西村卓也教授（測地学）は「流体が能登半島の地下十数㌔まで上昇し、付近にある断層内に流れ込んで刺激したことで群発地震を引き起こしていた」と指摘。「流体の影響がひずみを蓄えていた大きな断層にまで及んだ結果、今回の地震が誘発された」と分析します。

流体は、海水を含む太平洋プレートと一緒に日本列島の下へ沈み込む中でプレートから分離し、地下の浅いところに上昇してくるとされます。詳細は解明されていませんが、上昇した流体が断層面を滑りやすくしたりすることで地震を引き起こすと考えられています。

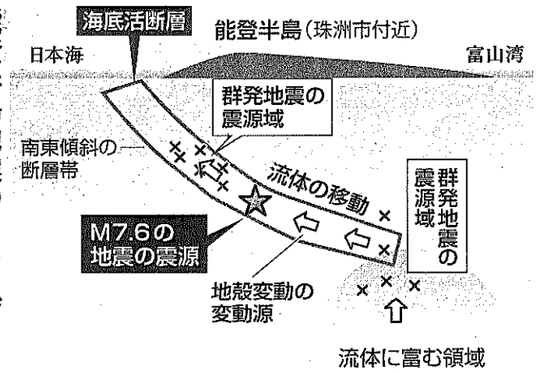
西村教授らの研究によると、22年6月までに約2900万立方㍍（東京ドーム23個分）の流体が、能登半島の地下16㌔まで上昇していたことが分かったといいます。

西村教授は上昇の要因として東日本大震災に言及。「東日本地域はこれまで、プレートからプレートを引っ張る力がかかったが、大震災によの力が弱まり、能登半島の地割れ目をつたしやすくなっもある」と推測

流体の詳細が、能登半島火山はないたマの可能性は

今後、運輸安や警視庁が詳ます。

同省による発生した2空港の滑走路てが閉鎖され、その日のうち再開しました。走路は閉鎖がました。事故線を中心に計便（7日午後点）の欠航がたが、今後は見通し。



能登半島地震のイメージ

（金沢大の平松良浩教授の資料を基に作成）

記録媒体が破損

池田議員側 証拠隠滅か

自民党の最大派閥「清和政策研究会」（安倍派）の政治資金パーティー収入を巡る裏金事件で、東京地検特捜部が衆院議員、池田佳隆容疑者（57）＝比例北陸信越＝ら安倍派の複数の議員について、所得報告書に記載せず裏金化していたとされる問題で、池田容疑者側が証拠隠滅を図った疑いがあるとみて調べています。

関係者によると、安倍派では派閥のパーティー収入の一部を議員側に還流する際、池田容疑者と沼和宏容疑者（45）＝同＝ら責任者で政策秘書の柿沼されました。

関係者によると、特捜部は昨年12月27日、池田容疑者の議員会館事務所や地元名古屋市の事務所などを捜索。その際に押収した記録媒体を調べたところ、データが破損していたといいます。

特捜部は、池田容疑者側が証拠隠滅のため故意に記録媒体を壊した可能性が高いと判断。「罪証隠滅の恐れが大きい」として2人の逮捕に踏み切りました。

同法違反容疑での国会議員の逮捕は異例で、03年に国会議員として初めて同法違反だけで逮捕された坂井隆憲元衆院議員以来、21年ぶりとみられます。

C滑走路の運用再開

日本航空と海上保安庁の航空機の衝突炎上事故が起きた羽田空港C滑走路は8日午前0時に運用が再開されました。国土交通省が発表しました。事故機の撤去は完了しており、

羽田空港衝突事故

歳少女 安心し涙

9日で発生1週間の羽田空港（東京都大田区）で起きた日本航空と海上保安庁の航空機衝突炎上事故。「家族全員が生きていて安心した」。衝突から18分後、乗客乗員379人全員が脱出した日航機に乗っていた小学6年生の少女（12）が当時の様子を生々しく語りました。

事故当日の2日午後、少女

なっていました。

機体が停止すると、最前列に座っていた父親（52）が前方左側の脱出用シューターで最初に地上に降り、乗客の脱出を手伝いました。少女も母親とシューターを滑り降りました。機体後方で火花が上がるのが見え、花火のような「どーん」という爆発音が2回聞こえました。「すぐに

政治資金規正法 なお抜け道

には政治家個人に対する企業献金が禁止となる後から「政策活動費」治家個人への寄付は禁止されていますが、政

藤井が先勝

将棋王将戦

将棋の藤井聡太王将（21）＝竜王、名人、王位、叡王、王座、棋王、棋聖と合わせ八冠＝に菅井竜也八段（31）が挑戦する第7番勝負の第1局は、7、8日、栃原市で指され、藤井八冠が1勝ちました。第2局は20、佐賀県上峰町で行ます。

第1859回ロト6
数字選択式
全国自治宝くじ（8日）
【本数字】
01　04　11　28　37　39
【ボーナス数字】　15
1等（該当なし）
2等（623万9300円）
3等（29万2100円）
4等（6500円）
5等（1000円）

第6377回ナンバーズ
数字選択式
全国自治宝くじ（8日）
【ナンバーズ3】　565
ストレート（11万3600円）
ボックス

■松本人志さん
吉本興業は、属タレントの
ンビ「ダウン